

## 恩田川から大川入山

### 難易度は低く、明るくきれいな沢

2013年6月29日(土) 曇り

メンバー L : 廣瀬 (記)、犬山、世田、岩倉、小池M

---

あらかぎ高原スキー場横から入溪  
まずは堰堤を2つを超える。  
その後、所々で2~3mの滝が出るが何れも直登可能。  
また釜もあり、最も深いものは胸まで浸かる。

冷たい水に、気温も低く、寒さにやられた世田さんは「もう沢は最後かも・・・」とコメント  
真夏だったら最高なんですよ！！  
それからは、積極的に水に浸からずに進む。

1時間程で8m 2段の滝が現れる。  
以前は、右側の枯れた滝（こちらは1段）をザイルを出し直登したが、今回は左岸を高巻いた。  
なお、地形図からも判るが、兩岸の傾斜は緩く、何れの高巻きも容易である。  
その後も6mすだれの滝を最大として、数メートルの滝が幾つか現れる。  
およそ2時間で分岐。水量は左俣、右俣で、2:1で左俣を進む。  
小さな支流が何本も入り、本流は一気に水量を落とす。

水が枯れる頃、適当な笹の斜面に取り付く。  
斜面は急で、目の高さに笹があり進行を阻む。  
およそ30分の藪こぎで、大川入山手前2kmの登山道に出た。

ここで、お腹いっぱいかと思いきや、犬山さん、小池さんが「大川入山まで行きたい」と言う。大川入山は近くに見えるものの、一旦下るし、往復1時間はかかりそう・・・  
ということで、2人だけで行ってもらおう。  
残りの3人はポチポチ下山したが、なんとスキー場で追いつかれてしまった。  
どんだけ足が速いんだ！！

09:00 入溪  
11:00 分岐  
12:45 沢枯れる  
13:15 登山道  
15:00 あらかぎ高原スキー場

以上